

## 研究名:急性期脳梗塞患者の重症度と転帰に対する血中脂肪酸の効果に関する研究

脳梗塞にかかると突然体の機能が不自由となり、今までの日常生活を送れなくなることがあります。重症の場合は寝たきりになってしまうことも稀ではありません。これまで、脳梗塞の原因や予防、診断や治療について膨大な研究がなされ、明らかになったことも多くあります。この臨床研究は、血中で測定される脂肪酸に注目して脳梗塞の症状や予後との関連を調べるものです。具体的な方法は、脳梗塞で入院された患者さんが診療の目的で血液を検査する際に血中脂肪酸を同時に測定し、脳梗塞の重症度や予後の指標、年齢、性別、血液検査、画像検査、電気生理学的検査などの情報をカルテから収集して、その意義を解析します。血中脂肪酸測定は脳梗塞などの動脈硬化が疑われる場合に健康保険で認可されている検査法です。そのため、この研究は通常の診療の範囲の中で行われます。個人名は匿名化しデータが外部に漏れないように細心の注意をいたします。研究期間は2019年11月5日～2021年3月で、患者さんの対象となる期間は2019年11月5日～2021年3月、解析期間を含む総研究期間は2019年11月5日～2022年3月です。この研究に参加を希望されない場合はお申し出下さい。参加を拒否することで皆様に不利益が生じることは決してありません。本研究は本学医の倫理審査委員会の審査を受け、長の許可を得ています。この研究についてのお問い合わせは下記連絡先をお願いします。

担当者：泉 哲石（奈良県立医科大学 脳神経内科）

連絡先：0744-29-8860（奈良県立医科大学 脳神経内科）